

6 親として子どものためにできること 新型コロナウイルス感染症について話そう

進んで話をしましょう。子どもたちは既に何か聞いているかもしれません。感染症から身を守るためにも、正確な情報を話すようにしましょう。いつも身近にいる親だからこそできることです。

子どもの声に耳を傾けよう

- ▶ 子どもたちの会話は最後まで聞きましょう。様々な質問をして、子どもが何を知っているか把握しましょう。

正直に答えよう

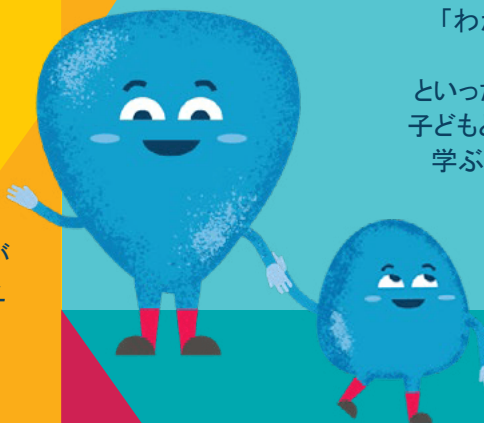
- ▶ 子どもたちの質問に対しては真摯に答えましょう。子どもの年齢や理解力に合わせた話し方で接しましょう。

安心感を与えよう

- ▶ 子どもが怖がったり、混乱したりするかもしれませんが状況を受け入れましょう。表情やしぐさが安心感を与えます。子どものために一緒にいることを伝えましょう。

答えを知らなくてもOK

「今、調べているよ。」
「わからないことだから、一緒に考えよう」といったように、この機会を子どもと一緒に新しいことを学ぶために使いましょう。



真のヒーローを目指そう

正しい情報を確かな情報源から得るようにしよう

ロコミやインターネット上で広がる偽情報に注意しましょう。信頼できるサイトを使いましょう。

<https://www.who.int/emergencies/diseases/novel-coronavirus-2019/advice-for-public-and>

<https://www.unicef.org/coronavirus/covid-19-from-who-and-unicef>

感染症によって偏見や差別を生まぬよう子どもたちには正しい知識を教えましょう。病気の人たちに対しての思いやりや気持ちに寄り添った行動を心がけましょう。

感染症を止めるために働いている人たちへの感謝と敬意について話し合ってみましょう。

最後に

子どもには不安などがなく、いつも確認を取りましょう。子どもをケアし、いつでも話すことができる環境を整えておきましょう。何よりも楽しいことを一緒にしましょう！

関連リンク

世界保健機関

ユニセフ

他の言語

参考文献(英語)



The mark "CDC" is owned by the US Dept of Health and Human Services and is used with permission. Use of this logo is not an endorsement by HHS or CDC of any particular product, service, or enterprise.